



マンチェスターアカデミーは次世代 L-Acoustics への アップグレードでオーディオシステムを強化



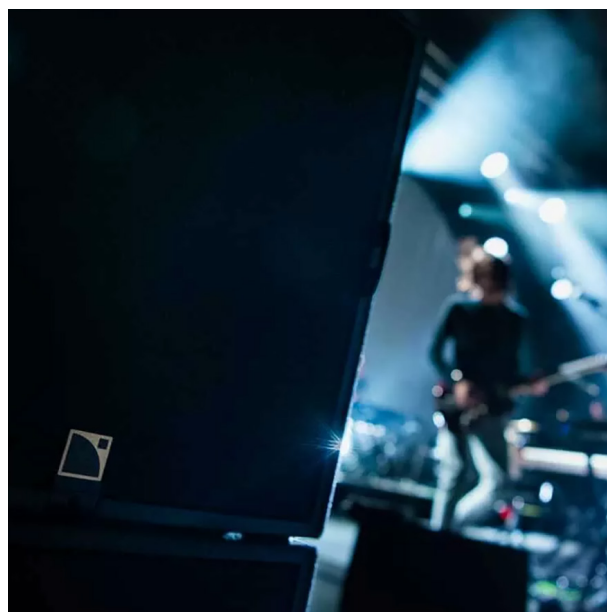
2023年5月

マンチェスターアカデミーは、デヴィッド・ボウイやジミ・ヘンドリックスからレディー・ガガやアデルまで、音楽界のレジェンドたちが出演してきた歴史ある会場です。この施設は、マンチェスター大学キャンパスの中心部に位置し、4つの独立した音楽会場から成り立っています。年間を通じて、何百ものライブが開催され、30万人以上のファンを魅了しています。アカデミー1という最大の会場では、最近音響システムの全面改修工事が行われ、既存の L-Acoustics コンサートサウンドシステムがアップグレードされました。この改修により会場はよりライダフレンドリーになり、将来的な公演に向けての魅力を高めています。主要アーティストたちも定期的に公演を行うため、マンチェスターアカデミーは引き続き活気溢れる音楽シーンを提供しています。

1990年にオープンしたアカデミー1は、2,600人収容の大規模なライブ会場であり、大学の学生会館内にある既存の小規模なアカデミー2、アカデミー3、クラブ・アカデミーを拡張する目的で建設されました。この会場は、トップアーティストを魅了するために設計され、オープニング・ナイトにはバズコックスが出演し、初日から成功を収めました。アカデミー1は常に最先端のテクノロジーを導入し、アーティストの要望に応えるための努力を重ねてきました。元々のサウンドシステムには、L-Acousticsの象徴的な V-DOSC が採用され、リバールを拠点とするイベントテクノロジーのスペシャリストである Adlib が設計・設置を手がけました。そして、この新しい音響改修においても再び Adlib が監修を任せられました。

Adlib の設備プロジェクトマネージャー、ロブ・クロスランド (Rob Crossland) 氏は、「Adlib はマンチェスターアカデミーと長年の付き合いがあり、アカデミー内の技術チームと共に、長年に渡り L-Acoustics を採用してきました。現在、

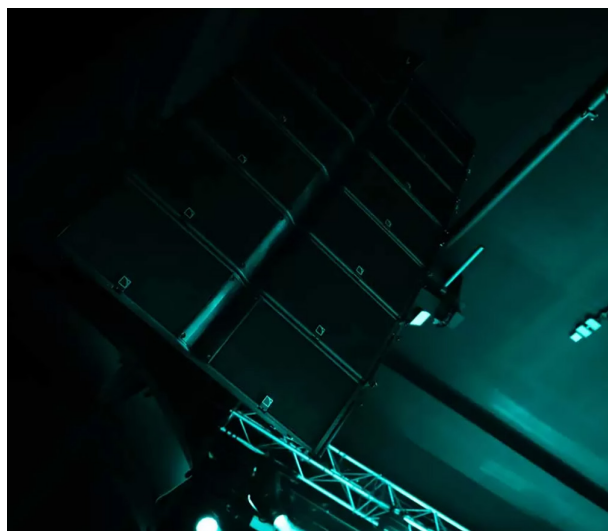
Kara システムはアカデミー2と3に、ARCS はクラブ・アカデミーに導入されています。」と述べています。「アカデミー1の V-DOSC は約12年前に当社が設置したもので、アップグレードの時期が来ていました。システムはとてうまく機能していましたが、L-Acoustics の新しいテクノロジーを活用することで、もっと良い方向に進むことが分かっていました。」



Adlib チームは、マンチェスターアカデミーの技術チームであるデイヴ・モリッシー (Dave Morrissey) 氏とマリオス・ソゾス (Marios Sozos) 氏と協力して、次のようなシステムを設計しました。メインハングにL-Acousticsのロングスロー K2キャビネットとKS28サブウーハーが使用されており、バルコニーディレイにはX12が、そしてインフィルとフロントフィルにはA10 Wideが導入されています。このシステムは、LA12XおよびLA4Xアンプリファイド・コントローラーで駆動され、P1 Milan AVB プロセッサの測定プラットフォームによってシステムが調整されています。

「片側7台のK2を吊り下げ、4台のKS28をグランドスタックしました。KS28の各スタックの上にはインフィル用にA10 Wideが2台、さらに2台がフロントフィル用にKS28の間に等間隔で設置されています。K2はV-DOSCよりも軽いため、両サイドに1台ずつエレメントを追加することができました。これは、会場のキャパシティが非常にスムーズになることを意味します。」とクロスランド氏は説明します。「この設置のスケジュールはタイトで、SoundvisionとNetwork Managerとの統合があつてこそ可能だったのです。私たちはさまざまなオプションをテストし、オートフィルターの使用も含めSVでデザインを完成させました。コミッション・エンジニアが会場に入ってきてファイルをロードした時点で、既に90%は完了しています。長期の休館は非常にコストがかかるので、これは会場にとつて喜ばしいことです。」

Adlibは、会場のスケジュールが空いている4日間という限られた時間内でインストールと調整を行いました。Adlibの経験豊富な技術者チームは、L-Acousticsのコンサートオーディオシステムの導入に加えて、全ての新しいケーブル、アンブラック、新しいマルチコアも設置しました。また、従来のウェッジ・システムを好むアーティストに対応するために、L-Acousticsの新しいステージ・モニター・システムも同時に納入されました。これは、13台のX15 HiQ ウェッジ、2台のドラム用SB18サブウーハー、片側2台のA15 Focusキャビネットの下に1台のKS28ハイパワー・サブウーハーで構成され、全てLA12Xアンプリファイド・コントローラーで駆動されます。



クロスランド氏は、「マンチェスターアカデミーは、常に新しい技術を取り入れようとしており、このプロジェクトは素晴らしいものでした。次世代の製品群を会場に導入し、新たな改良と革新を取り入れることは素晴らしいことです。」と締めくくります。「LA12X、LA4X、P1の組み合わせにより、会場の技術者はシステムを最高のパフォーマンスで稼働させるための多くのツールを手に入れることができます。ロード・チェッカーは、システムの傾向や変化を検知し、障害に素早く対処するための究極の手段です。また、Milan AVBにより、アンプ背面のパッチをやり直したり、ミックスポジションを離れたりすることなく、柔軟なルーティングやコンソールの切り替えが可能です。Network Managerのセキュリティ機能は、システムのキャリブレーションを保護しながら、ツアーのプロダクションはP1プロセッサのパワフルな機能にフルアクセスできます。これらすべてが、素晴らしいサウンドのパフォーマンスにつながっています。」

